

## 日本骨髄バンクの現状（2018年10月末現在）

	9月	10月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,852	4,019	492,332	752,553
患者登録者数	201	264	4,049	55,019
移植例数	84	109	—	22,508

### ■10月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	4,479人
20代	73,746人
30代	136,795人
40代	211,302人
50代	66,010人

### ■10月の20歳未満の登録者 454人

■10月の区分別ドナー登録者数： 献血ルーム／1,191人、献血併行型集団登録会／2,576人、集団登録会／182人、その他／70人

■10月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：582件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

## 1 海外患者向け末梢血幹細胞コーディネートを開始

これまで海外患者向けコーディネートは骨髄のみが対象でしたが、11月より末梢血幹細胞も対象となりました。

### ■背景

2010年非血縁者間末梢血幹細胞移植導入の際、国内におけるコーディネートの安定稼働を確認した後、海外患者にも末梢血幹細胞の提供を開始することとなっておりました。このたび、国の造血幹細胞移植委員会での審議を経て、海外患者向けコーディネートの対象が「骨髄のみ」から「骨髄または末梢血幹細胞」となりました。海外バンクからは、かねてより末梢血幹細胞提供への要望が高く、今後は海外への末梢血幹細胞提供が増える可能性があります。

## 2 「骨髄バンク推進月間 2018」報告

10月の骨髄バンク推進月間は、全国各地で数多くのドナー登録会やキャンペーンイベントが開催されました。ドナー登録者は4,019名で、昨年同月比305名増という結果でした。ドナー登録していただいた皆さま、ご協力いただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。

「富山マラソン 2018」では、昨年から本番前日の受付会場（富山市総合体育館）において骨髄バンクドナー登録会が開催されており、今年は10月27日に実施されました。昨年の実績を上回る57名（昨年46名）の方にドナー登録いただきました。また、各地で公営ケーブルテレビや自治体制作のラジオ番組等を通じて広くドナー登録の呼びかけが行われ、講演会も多数開催されました。

## 3 木下ほうかさんの提供体験が本になりました



昨年（2017年度）のACジャパン骨髄バンク支援キャンペーンにご登場いただいた人気俳優・木下ほうかさんが、自らの提供体験を記した書籍が11月下旬に発行されます。タイトルは、『僕が骨髄提供をした理由（わけ）。言うほどたいしたことなかったで〜!』。

発行にあたっては、「僕の体験を本で読んでもらうことで、もっと多くの人たちに骨髄バンクのことを理解してほしい」との木下さんの願いが込められています。全国の書店またはAmazonでお求めいただけます。ぜひご覧ください。

著者：木下ほうか 発行：辰巳出版株式会社

書籍：四六判、本文192頁 本体価格：1,400円（税別）

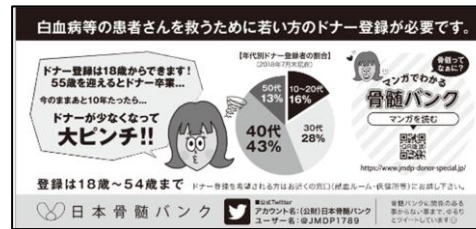
## 4 2018/19 Vリーグ会場で骨髄バンク支援がスタート

バレーボールの「2018-19 V.LEAGUE」が10月26日のプレミアリーグを皮切りに開幕しました。2006年から続くVリーグ機構の骨髄バンク支援は今回で12回目を数えます。今シーズンも来場者へ試合会場限定ステッカーを配布しています。裏に骨髄バンクからのお願いを記載し、表はVリーグオフィシャルマスコット・ブイリーと、骨髄バンクスペシャルサイトでお馴染みのキャラクターとのコラボデザインのシールとなっています。

(表)



(裏)



## 5 ドナー助成制度、新たに4つの自治体で導入

新たに4市町で「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が導入されました。全国で426市区町村になります。助成内容は各自治体によって異なりますので、直接お問い合わせください。当法人ホームページに問い合わせ一覧を掲載しています。

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ  
> 提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体

### ■新たに導入した自治体

○富谷市（宮城県）    ○高萩市（茨城県）    ○琴平町（香川県）    ○川南町（宮崎県）

## 6 「日本骨髄バンクNEWS」最新号・第53号発行（予告）

「日本骨髄バンクNEWS」第53号を12月5日に発行します。特集として「移植を経験したスポーツ選手のサバイバートーク」と題して、骨髄移植を乗り越えて復帰されたサッカー選手と格闘家のお二人のインタビューを掲載します。

## 7 非血縁者間骨髄採取施設の認定について

下記の施設が新たに非血縁者間骨髄採取施設として認定されました。

### ●まつもと医療センター

これにより骨髄採取認定施設数は190施設となりました。新規認定施設はホームページでもご覧いただけます。

◇HOME>患者さんへ>移植認定病院 および ドナー登録されている方へ>面談施設一覧

## 8 当法人の会議等開催予定

傍聴ご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	12月10日（月）18時～20時 廣瀬第2ビル地下会議室

### コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

## 9 ヘパリン使用量が過多となった場合の対応について <患者主治医の方へ>

過日、移植施設より、骨髄液のヘパリン使用量がバンク推奨量(10u/ml)の2倍近い量であったとの報告がありました。骨髄液に凝塊血が混じていたため使用量が増えたもので、輸注中にAPTT延長が見られましたが、プロタミン投与等により適切な対応がなされました。

過去にも骨髄液に含まれるヘパリンの影響により出血を来した事例の報告があり、注意喚起してきましたが、関係者の皆様には下記をご参照いただき、改めてヘパリン使用について認識いただきますようお願いいたします。

◇HOME > 医師の方へ > 医師宛通知文【患者主治医向け】

### ◆ 骨髄移植後に患者さんが脳出血を併発した事例について(ご報告)

◎ 2013年1月15日

[https://www.jmdp.or.jp/documents/file/04\\_medical/notice\\_f/2013\\_01\\_15.pdf](https://www.jmdp.or.jp/documents/file/04_medical/notice_f/2013_01_15.pdf)

◎ 2013年10月22日付(続報)

[https://www.jmdp.or.jp/documents/file/04\\_medical/notice\\_f/2013\\_10\\_22\\_2.pdf](https://www.jmdp.or.jp/documents/file/04_medical/notice_f/2013_10_22_2.pdf)

### ◆ 骨髄移植後に患者さんがAPTT延長となり出血を来した事例について(ご報告)

◎ 2017年3月15日付

[https://www.jmdp.or.jp/documents/file/04\\_medical/notice\\_f/2017\\_03\\_15.pdf](https://www.jmdp.or.jp/documents/file/04_medical/notice_f/2017_03_15.pdf)

## 10 海外患者向けPBコーディネーター開始に伴う運用について <コーディネーターの方へ>

項番1で案内の通り、これまで海外患者向けコーディネーターは骨髄のみを対象としてきましたが、今後は末梢血幹細胞も対象となりますので、コーディネーター上の運用については下記の通りご対応をお願いします。

### ■運用開始日：11月5日(月)ドナー確定分より

なお、運用手順は、国内患者とのコーディネーターと同様ですが、下記のみ異なります。

- ドナーへのG-CSF投与は、患者の前処置開始を確認したうえで投与することになっているが、海外提供の場合、時差があるため前処置開始前にG-CSF投与開始するケースがある。
- このため、G-CSF投与のできるだけ直前に「予定どおり前処置開始ができる見込み」を海外バンクに確認し、ドナー安全委員会・国際委員会の委員長・副委員長の承認を得た後、予定どおりG-CSF投与開始とする。

## 11 年末年始の確認検査・再検査実施とSRL予約について <コーディネーターの方へ>

ドナーがHLA(DNA)の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。どちらに該当するかは地区事務局から申し送りしますので、それに従って日程調整をお願いします。

### 【年末】

- ① 確認検査(検査項目：一般血液検査とHLAビーズ法)⇒12月26日(水)採血分まで
- ② 確認検査(検査項目：一般血液検査のみ)・再検査 ⇒12月28日(金)採血分まで

### 【年始】

- ① 確認検査、再検査 ⇒ 1月7日(月)採血分から

### 【SRLの予約】

1月7日～9日に採血希望の場合は、12月26日(水)14:00まで